



TITLE:

# 大学院学生 研修員 所内談話会記録 (I 研究所の概要)

AUTHOR(S):

---

CITATION:

大学院学生 研修員 所内談話会記録(I 研究所の概要). 霊長類研究所年報  
1985, 15: 32-33

ISSUE DATE:

1985-10-30

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/163575>

RIGHT:

## 大 学 院 学 生

昭和59年度京都大学理学研究科動物学専攻霊長類分科の学生は次のとおりである。

氏名	学年	指導教官	研究テーマ
星野次郎	D 5	河合雅雄	マンドリルの生態学的研究
宮藤浩子	D 4	"	マンドリルの社会生態学的研究
Jean Barcelo	D 4	"	熱帯多雨林の樹上性霊長類の生態社会学的研究
名取真人	D 3	江原昭善	マーモセット科の歯牙形態について
三谷雅純	D 2	河合雅雄	西アフリカにおける樹上性霊長類の生態学的及びコミュニケーション論的研究
広谷 彰	D 2	"	トナカイ牧畜民の研究
吉久保真一	D 1	室伏靖子	霊長類の種の認知に関する実験的研究
大井 徹	D 1	川村俊蔵	ニホンザルの摂食行動の社会生態学的研究
丹治雅夫	D 1	高橋健治 野沢 謙	霊長類の組織プロテアーゼの性状と生理的役割
沢口俊之	D 1	久保田競	前頭前野の機能的細胞構築
早坂謙二	M 2	野沢 謙	ニホンザルの父権に関する研究
村山裕一	M 2	高橋健治 野沢 謙	霊長類のリンパ球抗原について
Solomon Yirga	M 2	江原昭善	霊長類各群における下肢の筋・骨格系とロコモーションの関連性
五百部裕	M 1	河合雅雄	ニホンザル幸島群におけるメスの社会関係についての研究
板倉昭二	M 1	室伏靖子	ニホンザルにおける鏡の使用と自己鏡像

中川尚史 M 1 河合雅雄  
 の認識  
 ニホンザルの採食及び遊動に関する研究

## 研 修 員

氏名	指導教官	研修題目	研修期間
松本 真	江原昭善	霊長類頭骨の比較形態学的研究	59.4.1 ～60.3.31
市原慶和	高橋健治	霊長類の蛋白分解酵素とその遺伝子の構造・機能及び進化	59.4.1 ～59.9.30
川本 芳	野澤 謙	セレベスマカクの集団遺伝学的研究	59.4.1 ～60.2.28
松村博文	江原昭善	ヒトを中心とした霊長類の系統分類学的研究	59.4.1 ～60.3.31
泉山茂之・川村俊蔵		野生ニホンザルの耕地回避学習についての地域間比較研究	59.5.16 ～59.11.15
瀬戸口美恵子	川村俊蔵	哺乳類 特にタイワンリスの社会生活	59.8.1 ～60.7.31
竹中晃子	竹中 修	マカクの系統とヘモグロビンの構造	59.8.1 ～60.7.31
鶴殿俊史	松林清明	チンパンジー精液の凍結保存法に関する研究	60.1.10 ～60.4.9

## 日本学術振興会奨励研究員

氏名	指導教官	研修題目	研修期間
藤田和生	室伏靖子	霊長類における事物の分類様式の比較研究 感覚性強化による検討	59.4.1 ～60.3.31

## 所内談話会記録

第1回：4月27日

Aubrey Gorbman(ワシントン大学・動物学科)  
「Evolution of the Brain-Pituitary Relationship.」

第2回：6月21日

鈴木晃(京大・霊長研)「オランウータンの社会構造」

第3回：7月13日

三上章允(京大・霊長研)「映画の原理と神経細胞活動 — NIHでの研究をおえて — 」

第4回：7月19日

Alfred L. Rosenberger (イリノイ大学シカゴ分校人類学科)「South American Monkeys: A new frontier — 南米サル調査のおもしろさ」

第5回：10月26日

庄武孝義(京大・霊長研)「スリランカと南インドのサル」

第6回：11月21日

木村賛(京大・霊長研)「シリアの旧石器遺跡」

第7回：12月25日

松林清明(京大霊長研)「サバ州のオラン・リハビリセンター」

松沢哲郎(京大霊長研)「ネパール・ヒマラヤの山と人」

第8回：1月31日

竹中修・渡辺毅・川本芳(京大霊長研)・浜田稯(日本モンキーセンター)「スラウェシ・マカク — 分布と種間差・マウラを中心とした形態的特徴・毛色の変異と種間差・捕獲調査について」

(談話会係：大島清・松沢哲郎)